

2019年10月理事会議事録

日 時：2019年10月25日（金）15：50～17：00

場 所：岡山大学文学部会議室

出 席：谷川章雄・近藤英夫・矢島國雄・植田 真・小笠原永隆・小澤正人・河村好光・
佐々木憲一・杉井 健・関根達人・滝沢 誠・都築恵美子・萩野谷 悟・堀内秀
樹・馬淵和雄・宮里 修・高麗 正、監事：橋本裕行、（事務局：林 純子・出
口まどか）
欠 席：大島直行・菊池誠一・佐古和枝・佐々木和博・谷畑美帆・中嶋郁夫・松崎元樹・
唐澤至朗
進 行：関根達人
議 長：谷川章雄

滝沢理事から、本日の出席者は18名で過半数に達しており、本理事会が成立することが報告され、議事に入った。

議案第549号 退会会員の承認について

植田理事から、宮城県の*会員から2019年度をもつての退会届が提出されている旨の報告があり、承認された。

議案第550号 謝金規定及び基準の制定について（その2）

都築理事から、9月理事会議案第546号で継続審議となった謝金に関する規定について、「日本考古学協会謝金に関する内規」とし、海外在住の会員への謝金の取扱いを別表の謝金区分及び金額一覧に明記したとの説明があった。続けて高麗常務理事から、本内規は来年1月1日から施行となるが、経過措置の期間を附則に設けるとの説明があった。審議の結果、内規に示された金額は上限規定とし、事業によって柔軟に対応することが確認され、原案通り承認された。

議案第551号 『日本考古学年報』71・『同』72の刊行日程と会員等発送について

河村理事から、第85回総会です承された通り、近年の郵送料の値上げに対応し『日本考古学年報』71（2018年度版）からA4判とし会報に同封し送付する、『同』71の送付は2020年8月になるとの説明があった。続けて、現行の刊行日程では対象年度の翌々年に発刊が遅れるため、前年度の年報を翌年12月会報に同封して送付する刊行日程としたいとの提案があった。審議の結果、年報執筆者の選定など全体的な行程も早くなることが確認され、『日本考古学年報』71は当初の予定通り来年8月会報に同封することとし、『同』72（2019年度版）から提案の日程で実施することとなり、2020年度は2冊刊行することで、原案通り承認された。

なお、『会報』についても将来的にA4判での方向性を検討していくこととなった。

議案第552号 令和元年台風15・19号に伴う文化財及び会員等被災状況に関わる対応につ

いて

近藤副会長から、台風15号・19号の被害を受け、12月会報及びホームページに、「日本考古学協会規則」・「会費免除期間の基準」に基づき、会費免除の措置に関する告知を掲載することが提案され、原案通り承認された。続けて、小笠原理事から台風19号による千葉県文化財や史跡等の被災状況について補足説明があり、引き続き各地の被災状況を集約していくこととなった。

報告第758号 2019年度岡山大会における実施要項の最終確認について

小笠原理事から、「大会実施要項」に基づき、9月理事会からの変更点についての説明、日程・役割分担についての確認があり、了承された。

報告第759号 2019年度賛助会員（フレンドシップ）対象の事業計画について

矢島副会長から、賛助会員を対象とした今年度の事業について、東京大学考古学研究室の見学については日程等の調整中であること、また奈良大学図書館の見学を計画しているとの説明があり、了承された。

報告第760号 各委員会等における事業報告と今後の計画（その3）

1 研究環境検討委員会報告

堀内理事から、9月29日（日）に委員会を開催し、①2019年度岡山大会におけるポスターセッションの内容について検討した。②第86回（2020年度）総会時に、ポスターセッションに加えてセッションを実施する方向で協議した。③理事会から提案のあったアイヌラウンドテーブル関係事項等の文化財問題の対応を活動内容に加えることについて協議し、改めて理事会と直接意見交換を行うこととなった。④来年度の委員会体制について協議したとの報告があり、了承された。

2 陵墓報告：陵墓限定公開40周年記念シンポジウム計画の予定

滝沢理事から、12月22日（日）に大阪歴史博物館講堂で、「陵墓限定公開」40周年記念シンポジウムを「文化財としての『陵墓』と世界遺産」をテーマに開催する計画概要が提示され、チラシデータを当会を含む陵墓関係16学協会のホームページ等に掲載して広報するとの説明があり、了承された。

3 埋蔵文化財保護対策委員会報告

馬淵理事から、9月21日（土）に9月幹事会を開催し、①長崎市長崎県庁跡地について、現状が報告され、九州連絡会を中心に引き続き注視していく。②北本市デーノタメ遺跡についてシンポジウムの開催予定が延期になったとの報告があった。③北九州市立埋蔵文化財センターが施設の老朽化に伴い旧八幡市民会館に移転する計画があり、埋蔵文化財担当者の意見が反映されているか北九州市の文化財保護行政の方針を注視する必要があるとの報告があり、了承された。

報告第761号 各委員会委員長と正副会長との面談結果について

谷川会長から、10月3日（木）に国際交流委員会の西藤清秀委員長と近藤副会長・矢島副会長と懇談し、①国際交流委員会と英文機関誌編集委員会との事業区分と連携について、両委員会の合同会議の実施等を図る。②英語以外の言語への多言語化の促進については、他学会や大学等とも連携して展開する方向性も探るとの意見交換を行ったとの説明があり、了承された。

報告第762号 協会設立70周年記念事業報告

矢島副会長から、協会設立70周年記念講演会の2019年度第1回を、10月20日（日）に網走市エコセンター2000（オホーツク・文化交流センター）において網走市教育委員会と共催で「モヨロ貝塚と大陸文化」と題して行い、131名の参加があったとの報告があった。また、2019年度第2回は11月24日（日）に笠懸公民館において、みどり市教育委員会と共催で「岩宿遺跡と日本の近代考古学」と題して3本の講演を行う予定であるとの説明があり、了承された。

報告第763号 印刷委託の契約方法について

高麗常務理事から、年報等の刊行物の印刷について、来年度分は見積もり合わせによる随意契約で行いたいとの説明があり、了承された。

報告第764号 2020年度の各委員会等に関わる予算提出について

萩野谷理事から、各委員会及び事業担当理事に、期日までの来年度予算案の提出が求められた。

その他

杉井理事から、当会も参加している文化財防災ネットワークの推進事業シンポジウムが、12月7日（土）に東京国立博物館で開催されるとの告知があった。

以 上